



コミュニティ・スクール(CS)へ

未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、社会全体で取り組むことが不可欠です。そのために、地域とともにある学校づくりを進め、「おらがまちの小学校」に通う子どもたちの豊かな成長を支えていきたいと考えています。子どもは、できるだけ多くの大人たちが関わって成長したほうが「しあわせ」になります。そして、子どもたちが豊かに成長することは、地域社会の活性化にもつながります。「おらがまちの小学校」という気持ちで子どもたちの成長に関わっていただくことで、皆さんにとっての生きがいにもつながるようにと願っています。

本校は、「笑顔いっぱい 夢いっぱい とともに伸びゆく 小平十小」をテーマに、平成30年度よりコミュニティ・スクール(CS)に向けて検討を始めました。その中で保護者・地域の皆様にアンケートを実施し、地域全体で子どもたちを育てていきたいという思いも明らかになりました。そして、「小平市東京都型学校運営協議会設置要綱」(平成30年4月1日制定)を受け、平成31年4月より都型学校運営協議会を設置し、CSに向けた準備を推進してきました。

学校がCSになることで今まで以上に保護者や地域の皆様の願いを学校づくりに活かすことができます。さらに、同じ願いをもって協働することで、子どもたちをより豊かに育むとともに、十小校区の全ての皆さんの笑顔と夢が広がる地域になると考えています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

小平市立小平第十小学校

令和元年度東京都型学校運営協議会会長
校長

十小CS 取組方針

笑顔と夢が広がる未来を拓く

～ コ(子ども)の ミ(未来)へ ス(スクラム) ク(組んで) ～

子どもの

安心・安全を確保し
健やかな成長を支援する

スクラム

学校・保護者・地域が
常に連携し、皆で子どもを
見守る環境を整える



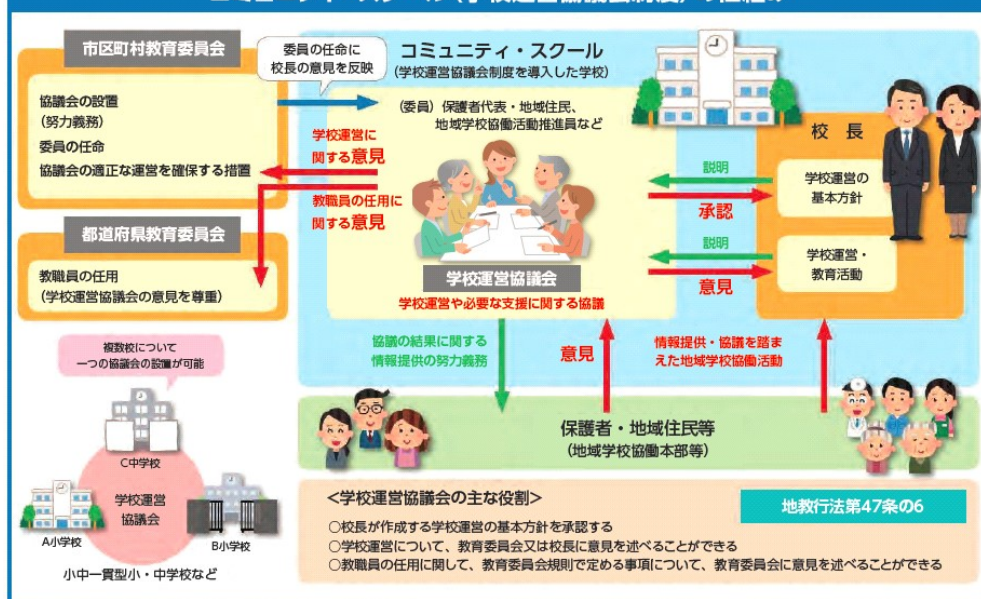
未来へ

夢に向かって学び続け、
考える力と強くしなやかな
心を育てる

組んで

子どもがいつでも安心して
過ごせる「ふるさと」を
協働して創る

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



コミュニティ・スクール(CS)とは

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律(地教行法第47条の6)に基づいた仕組みです。

十小CSの取組 (4つのプロジェクト)

学力向上プロジェクト

学習活動にかかわる支援・調整

学習支援

ミシン学習のボランティアや地域に出かける学習の付き添い等を探し、学習を支援します。



ゲストティーチャーの調整

授業に入っていたくと学習が深まる効果的な専門の方を探し、学習を支援します。



環境整備プロジェクト

学習環境整備にかかわる支援・調整

環境整備

図書ボランティアや園芸ボランティアなど、子どもたちの教育活動の環境整備をコーディネートします。



家庭連携プロジェクト

家庭との連携・支援

各種講演会等

保護者の皆さんにとって役立つような講演会や漢検等の企画・運営をしていきます。右の写真は「入学前サポートプログラム」の様子です。



新1年生保護者への講演会



保護者の皆さんで



その頃、仲良く遊ぶ子どもたち

地域連携プロジェクト

地域との連携・支援

十小子ども見守り隊

登下校時や放課後に子どもたちの安全を見守る活動を行っています。



防災連絡会との連携

十小が避難所になることを想定し、避難所設営訓練や受付訓練をしています。



アンケートの結果から

H30年に実施した保護者・地域・教職員へのアンケート結果です。

●どんな子に育ってほしいと思いますか？

- 1 社会のルールを守れる子
- 2 自分の行動に責任をもてる子
- 3 周りの人と協力し合える子

●どんな学校になってほしいですか？

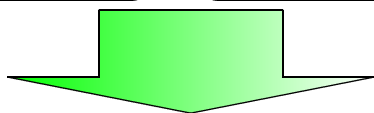
- 1 友達と仲良く過ごし、豊かな人間関係が築ける学校
- 2 子どもの個性を伸ばし、意欲をもって生活できる学校
- 3 喜んで「学校に行きたい」と思う学校

●家庭では、どんなことを大切にしながら子どもを育てたいと思いますか？

- 1 優しく思いやりがある子に
- 2 あいさつや正しい言葉遣いができる子に
- 3 親子の会話やふれ合いを大切にする子に

●子どもにとって、どんな地域がよいと思いますか？

- 1 安心して暮らせる地域
- 2 子どもを見守る環境がある地域
- 3 安全な遊び場所がある地域



全体を通して、「優しく思いやりがある」「社会のルールやマナーを守る」のポイントが高いです。そして、自ら立てた規範に従って行動し、周囲の人たちと協力し合いながら、充実感をもって生きていけるように育ってほしいという願いがあります。さらに、安心・安全な地域をつくるためにも、地域全体で取り組んでいこうという願いが強いことが分かります。

十小の各種ボランティア

これまでのご支援に感謝いたします。

図書ボランティア	本を整備したり修理したりしています。学級図書の整備も少しずつ進めています。
園芸ボランティア	園芸委員会の子どもたちと一緒に花を植えたり、花壇などの管理をしたりしています。園芸講座で植え方や管理の方法なども学んでいます。
学習支援ボランティア	生活科や総合的な学習の時間などの地域体験活動時に、付き添いや見守りなどをしています。高学年の家庭科では、裁縫やミシン、調理実習などで学習支援をしています。
読み聞かせボランティア	読書タイムの時に、教室で読み聞かせをしています。子どもたちが喜ぶ本やぜひ紹介したい本などを選んでいきます。
十小子ども見守り隊	登下校時や放課後に子どもたちの安全を見守る活動を行っています。

ボランティア登録のお願い

毎年、「学校支援ボランティアだより」で登録のお願いをさせていただいており、多くの方のご協力に感謝いたします。今後もいつでも受け付けています。ご協力お願いいたします。

- ・登録カードは、確認のために毎年提出していただいています。
- ・登録したボランティアの活動中（往復途上も含む）、万が一けがをした場合は、小平市が加入している「団体総合保障制度費用保険」で対応します。

十小CS Q&A

Q コミュニティ・スクールとはどういう学校ですか？

A 学校運営協議会制度を導入した学校のことで、保護者や地域住民が一定の権限をもって学校運営に参画する学校です。

Q 学校運営協議会（小平市では「学校経営協議会」）は何をするのですか？

A 主に次の3つのことを行います。

- ・校長が作成する学校運営の基本方針について承認すること
- ・学校運営について教育委員会や校長に意見を述べること
- ・教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べること

Q これまでと何が変わるのですか？

A 学校だけでなく地域住民が一緒になって組織を構築することにより、ネットワークが広がります。これにより、これまで以上に地域の人材や施設、自然などの教育資源を子どもたちの授業に活用できるようになります。また、保護者や地域の方々が関わり合う機会が増え、今まで以上により関係を築くことにもつながると考えています。

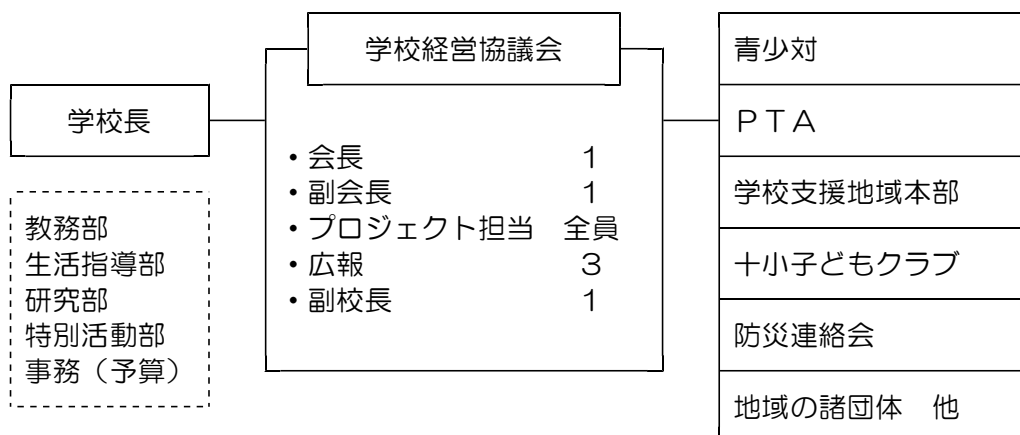
Q PTAの活動との違いは何ですか？

A これまでのPTAの活動が大きく変わることはありません。今後、PTA活動とも連携し合い、互いに補完し合えるような在り方を探っていきたいと考えています。

令和元年度 十小 都型学校運営協議会

小平十小の都型学校運営協議会では、学校・家庭・地域への支援・連携について、これまでの十小の取組を基にして、今後の取組について議論を深めてきました。新しい企画にも取り組んできました。今後も、子どもたちの健やかな成長と十小校区全体のよりよい教育環境を願い、会を重ねてまいります。ご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

令和2年度 十小CSの組織



十小のホームページで、各種情報や日頃の教育活動等について紹介しています。
 どうぞご覧ください。 <http://www.kodaira.ed.jp/10kodaira/>

